

論文審査の要旨

報告番号	修 第 1325 号	氏 名	白戸 信行
論文審査担当者	主 査 三村洋美 副 査 鈴木憲雄 副 査 佐藤久弥		
(論文審査の要旨)			
学位論文題目 「修士論文：大学病院に勤務する看護職員における部署異動の経験と 首尾一貫感覚および職業ストレスの関連性」			
<p>本学位論文は、看護師の部署移動と首尾一貫性（SOC）及び職業性び職業性ストレスの関連性を明らかにした研究である。研究の目的は先行研究を踏まえて明確に示している。</p> <p>大学病院に勤務する看護師 2763 名に対し、人生の志向性に関する質問票（SOC 質問票）、臨床看護職者の仕事ストレス測定尺度（NJSS）を使用し、ウェブアンケートにより実施している。適切な調査方法およびサンプル収集が行われており、倫理的配慮も十分である。</p> <p>看護師 1013 名を解析対象とし、異動経験群と非経験群の比較では、SOC は下位尺度「処理可能感」で異動経験群の方が有意に低く、NJSS 総合ストレイン値および、下位尺度でも異動経験群の方が有意に高いという結果を導いている。異動肯定群と非肯定群との比較では、SOC のすべての項目と NJSS 総合ストレイン値において肯定群の方が有意に高く、肯定群と非肯定群別の 2 項ロジスティック回帰分析において、肯定感では年齢と SOC が独立した因子であることも明らかにした。異動後の SOC が低い人は、環境の変化に適応できていない状況であり、より手厚い支援が必要であることを提言した。</p> <p>今後は、部署異動後の支援プログラムの開発を視野に今後の研究の継続性も明確にしている。結果は今後の看護現場に有用であり、新規性のある研究への発展性が大きい。図表で結果は明解に示されており、考察でも結果の意味づけが十分行われている。</p>			
以上より、白戸信行氏より提出された、学位論文「修士論文 大学病院に勤務する看護職員における部署異動の経験と首尾一貫感覚および職業ストレスの関連性」は修士（保健医療学）の学位を授与するに値する論文であると認める。			